

# 三河 アララギ

2021年 令和3年9月 長月

九 月 号

第 六 十 八 卷 第 九 号



ニューヨーク日記(179) <http://blueshoe.copetin.com/>

BlueCat, Shoe Lady

SHERLOCK TRAVELS TO LA

Blue Shoe Diaries



シャーロック、旅する猫に変身？ 暫くニューヨークから離れていて猫ちゃんと離れ離れで寂しいなと呟いていたら飛行機に乗って遊びに来てくれました！ 驚いたことに旅、結構平気みたい？ ロスのエアビーアンドビーアパートに到着したらご機嫌に日向ぼっこでお昼寝。何だか快適みたい。前世は砂漠の猫だったのかな？ NYより嬉しそうな、どうしよう、帰って不機嫌になったら。

I've been away from home for a while now. That means away from Sherlock! So he decided to come to hang out in the Californian sunshine! Surprisingly he traveled well in the plane and he even seems to like it here! His ancestors may have been a desert cat? I found him happily napping in the sunniest spot of this AirBnB.



## アカンサスの徑

御津磯夫

甦<sup>よみがへ</sup>り来りていのちいそがしく昼寝のなかにきく雨蛙

硯箱の上につね置く天眼鏡われのまなこの一部品なり

黄泉比良坂<sup>よもつひらさか</sup>より追ひかへされしわれかなと言ひしことなし命拾ひて

千年の前の末世といひあへりいまよりのち五十年に縁なくならむ

朱<sup>あか</sup>らめる小梅の實の枝低く見え伸ばせば痛し腕<sup>かいな</sup>とどかず

白玉のくぐもる玉を病める日の掌ににぎり<sup>とほ</sup>にき沓きたまもの

医学史を講ずる友も杖つきて病ののちの歩みするといふ

三千院にもつと近き家なりきいつまでも若き白きおもかけ

過ぎゆける病をいふは易<sup>やす</sup>くして今日の残花は昨日咲きたる

雲南に二頭の虎をうちとりし話をぽつりぽつりと云へり

## かぜくさ

大須賀寿恵

萍も芥も浮かぬひとところ水澄み透り金魚群れ合ふ

紫蘇の実の未だ青みの残れるを音たのしみつつ畑畔に嘯む

かがみぐさすすしろすすくさ季により大根の呼び名さまざまらしき

グランドの芝ひと色に素枯れつつ二羽の白き鳩何をつひばむ

道をゆずりし耕耘機には乙女のり土の生姜の匂ひ残しゆく

二階の窓あけてふとんを干す乙女始良恋ほしみ昨夜泣きぬき

くちなはののたくり庭をすぎゆきぬ頼れるはつひに己のみなり

夜半覚むるわれをめぐりて暗闇に空気流るる音かすかなり

歌集 「續々草々」

今 泉 米 子

かがやきて次々北より流れくる冬の白雲を見てゐたりけり  
忽ちに日は過ぎゆきて瓶に挿す櫛やさしきみどりの花咲く

年に一度も開くことなき部屋幾つ有りつつ我の一生<sup>ひとよ</sup>過ぎゆく

ライラックの花の紫淡くして近々の雨は豪雨となりぬ

母の日などとも言はず冷凍庫へ牛肉などを入れてゆきたり

十葉の十字の花の憎からず仄々白し長き夕ぐれ

浄瑠璃寺に今も無人の店ありて葉茶の包みを買ひきてくれぬ

皿洗ひ等も手伝ひてわれの辺に二日居りたり医師のわが孫

五月<sup>さみだれ</sup>雨の降りつづきつつやうやくに白くかそけし紫<sup>むらさき</sup>草の花

ははのことおほははのこと思はしめ雨は老紅梅の繁りの上に

## かぜくさ

牧野 錬子

旅するも後二三年かと老い夫が駒ヶ岳山頂に突然に言ふ

黒百合の球根五つ買ひて持つ花の咲くともわれは思はず

小柴垣めぐらす足のおそきと連れだちて常寂寺への草の径行く

はるばると海こえて来てわれは佇つ隠岐のみ社のペンペン草の中

御火葬塚の跡は杉林のふかくして「苔のたもとはかはくまもなき」

杉木立昏らくしずもる行在所の趾には青き苔さへもなし

ケースの中に重文の駄鈴飾られてその鈴の音をテープにて聞かす

岩の海国賀をめぐり打ちあぐる潮のしぶきのわが顔をうつ

船酔のややおさまりて昼食の塩味うましわかめまぜ飯

尋ね歩みし別府の海の黒木蔦海藻にして海の底とぞ

「ドリームキャッチャー」 蒲郡 岡本八千代

今日もまたドリームキャッチャーのちらと光る紫淡き小さき石光

この石光小さき小さき石玉にてああ三十年前よりの光かな

その昔わが家にステイし給ひし米<sup>(エヴァンシテイ)</sup>国高校のダン先生の光

オリンピック始まりてより何となくこの石光に気づきしわれかな

本を読みものを書きつつ時々は部屋変えて見る日本のオリンピックを

時々は神経質にもわが体温計りつつある己れに気づく

つひに吾も係りつけなるお医者さまにワクチンの注射してもらひたり

老いたれば老いたる夢もある如しワクチン注射に心たのしゑ

独りなば独りの生活次々となぞかわからぬ夢ある如し

何となく友との電話の愉しけれ今宵は誰の電話来るかしら

月の出の今宵は遅き夜にしてまた窓開けて空模様を仰ぐ

ローソンにも八百屋にもわが教え子ゐてなどか幸せの私にして

老いたれば老いたる夢も湧くごときうれしくなりし私の一日<sup>ひとひ</sup>

独りなば独りの生活<sup>くらし</sup>次々となどかわからぬ夢ある如し

八畳の間を歩むわが音のよろよりの音よ今宵の音よ

## 蝉時雨

豊川 弓谷 久子

凄まじき音に目覚めぬ例の無き大雨なりきとあとにて知りぬ

何も彼も押し流しゆく土石流の恐怖まざまざテレビにうつる

家も人も呑み込みてゆく濁流よ大雨被害は何処まで続く

短冊を竹に飾りし七夕祭り思い出話に子と盛り上がる

エアコンを今日より使はむ梅雨明けの猛暑となりて耐えがたき午後

蝉時雨と共に一日が始まりぬ今日も気温は三十度越え

予約より七十五日目コロナウイルス予防接種に今日は出掛けむ

一時間待ちて接種は一瞬間それでも心は軽くなりたり

食パンを細かく砕きぬ雀等の声が直近く聞え来る朝

訪れる人も無き日よパンに寄る雀等飽かずに眺めて暮らす

東京五輪遂に開幕さきゆき見えぬコロナと猛暑の中に

東京を直撃せずに台風は少し北へとそれて行きたり

うしの日も近しか今年も恒例のうなぎ弁当子より届きぬ

世界遺産の仲間入りせし西表島鋭い目の山猫が好き

植物も人も息切れする猛暑続き続きて七月も逝く

## りんごの木

東京 今泉 由利

アルゼンチン国パタゴニア地方キラキナ国立公園にて一本のりんごの木所有者なりき  
挽ぎ取りて一個の林檎の冷めたさよひと齧りの冷めたさよ

桃の香のパツと拈ぐる宅配便この年もまたこの日巡れり

何処かしこあの坂この坂坂道の歴史ありつつ江戸東京に

怖<sup>お</sup>ず怖<sup>お</sup>ずと漢詩の中に分け入らむ呆然として呆然のまま

はつきりと捉<sup>とら</sup>え得ること何もなし古地図の上をゆきつもどりつ

常使ふ日本の漢字のなかにして中国よりの名残りよろし

男であり女でありその尊きバランスを心して彫る仏像彫刻

夕の日の沈みてゆける方向に十万億土極楽ありと

窓の辺に「南十字星」そつとありき外国住いの始まりなりき

檜なる一木に彫る聖観音一刀一刀私を込むる

「宇宙」「神」「仏」「真実」漠然と思ふそれだけで良い

無限とはどれほどの時間をかけても数へ得るには至らない

有限とは時と手間をかけさえすれば数え終えられること

自らに所有時間の豊かさよ「考えてみる」遊びしてゐる



## 前向きに

春日井 清 澤 範 子

8月号の原稿五日遅れて投函す由利先生に電話やさしかりけり  
昭和六年七月四日亡き夫の誕生日なりケーキ供えて誕生日の歌  
コロナ悔しを言いながら高齢者のワクチン2回目の接種終る

梅雨空を見ながら庭師と剪定の日程を娘と段取りをする

庭の貝塚梢を丸く刈り揃え終りし後に初蟬の声

今までは夫が仕切りていた暮し娘も頑張る吾も頑張る

東海地方大雨警報雨間をみてアララギ9月号原稿投函

残された吾と娘は前向きに生きてゆこうと笑顔取り戻す

又娘と二人の朝餉食べ終えてウグイス鳴けば力出で来ぬ

食器など三ツ三ツと揃えありまだまだそのまま上に重ねて

## 心旅

大阪 伊藤 忠 男

おもてなし露と消えしもオンライン同時に世界つなぐ技あり

国と国比較望まぬ祭典に国のメダルを競うそぐわず

人生の縮図を背負うアスリートならこそ胸打ち涙誘うや

才能に努力積み上げ磨き上げ世界に披露我誇りなり

スポーツは相手倒して優劣を競うからこそ手に汗握る

勝ちを得て敗者の気持ちわかるには無心の努力あればこそなり

激励も過ぎしは負担増すのみか入賞だけはと追い詰めている

ともかくも悔いなき走り願うのみ北の大地は晴れやかな色

言葉では伝えられない心旅胸こころなびにしみいるクラシック曲

熊野路を照らす木漏れ日杉木立乱れ花柄足元に咲く

この道を上る決意に勇氣いる上ればその後下り待つなり

## 夏来る

東京 矢崎直人

スーパーを出でて見上ぐる暗き空いなづま光り雨の匂ひし

雷の鳴り始めたら燕たち屋根の近くを次々急ぎ

近づいて遂に真上のカミナリや耳を劈く音の凄じ

梅雨明けて夏の青空雲の色変わる何よりこの蒸し暑さ

東京の街の中にも夏来る初蝉の鳴き蝉だと気づき

黒猫の日陰を足軽く道を扨んで歩いてゆけり

オレンジの脚持つ鳥のコガネムシひっくり返しつつひて食へり

三匹が二匹に金魚手水鉢消えた金魚の水の色濃き

夏の月白く輝き体育館祭り囃子の音の洩れ出す

祝日を赤字で印字カレンダー―五輪延期で動けぬ赤字

## 百年の時

東京 森岡陽子

コロナ禍で久しく会えぬ電話のみ話し上手で聞き上手の友

梅雨始め傘ごしに見ゆ枇杷の実は雨をふくみてたわわに実る

雨上り静寂の中参拝者小石音ひびく明治神宮

百年の時の流れに守られし万緑かほる宮の森の風

妃殿下の愛でし御歌の載るうたは白百合の咲く神宮の杜

涼しげに浴衣すがたで石畳神楽坂歩く姐さんが二人

姥百合の葉なきの姿すつきりとそこだけ少しの木漏れ日のさす

すば抜けた大木からの蝉時雨木下に転がる空蝉の背中

がまの穂は池の真中で雨にぬれ盆を待つかによきつと並び

## 孫の世話

豊川 白井 信昭

土石流人家諸共に流れ下るニュースの映像哀れなりけり

梅雨末期降雨線状帯掛かりつつ熱海の伊豆山盛土崩落

一箱に生鮎と干物頂きぬ妻が支度の晩のおかずに

わが家に七夕祭りもなければ逢瀬とかい<sup>こよい</sup>う今夕雨ふる

ジャスミン刈り払いてより幾日か門に出で来る白き一花

花壇にグラジオラスの幾本も伸び立つる花際立つ朱色

み社の近く道端花畑ノウゼンカズラの見れど飽かぬも

孫匠真二歳六ヶ月ようやくに流行風邪癒え元気になりぬ<sup>はやりかぜ</sup>

携帯の音声動画に微笑む孫こころ和めるひと時のあり

本宮の山並み隠し雲の峰高く積もる積乱雲は

## 金 鯪

蒲 郡 杉 浦 恵 美 子

煎茶道部活動仕舞ひに立ち合ひぬ三十年も前に創部せし故  
生徒数減りてしまへばしかたない三十五年の歴史終はりぬ

玉露碗薄紙をもて包み居りこれにて何人持て成したやら

煎茶道部と大書せし名簿棚の隅この筆跡は紛れなく我

ゆくりなく始まり終りに立ち合ひてもう二度と来ぬ校門を出づ

馬瀬川の下流に釣れし鮎四匹塩焼きにせむか魚田にせむか

夫も我も鮎と聞いたたら何処までも尋ねて行けり奥三河美濃

天然の鮎のその味夫想ふ冷酒がきりなく進む面影

疫病の退散願ひて金鯪は地上に降りしがコロナ禍二年目

さは云へど金鯪触れし感覚は時々になまりふとよみがへる

## 半夏生

豊川 山口千恵子

梅雨の間の陽に広げ干す洗濯物明日は雨と天気予報は

側溝をゴミなどすべておし流し梅雨の雨水にこりて早し

側溝に音して泥水流れある雲の切れゆき薄日さしくる

朝刊の新聞受けに落つる音床の中にて聞きてをりぬ

傘マーク天気予報の欄にならぶわが住む所の梅雨あけはまだ

半夏生と今朝のラジオに聞きしゆえ庭の半夏生見に出づるなり

カレンダー早や七月になりにけり半夏生の葉白々

もぎし梅洗ひてザルに上げにけりほのかに香る青梅香る

さらさらと荒塩梅にふりかける今年も漬ける梅干幾許

塩漬けの梅の甕にもみし紫蘇かぶせ入れればたちまち紅に

## 梅雨明け近し

豊川 夏目勝弘

四季あるは嬉しくもあり梅雨すぎれば昼夜を問はぬ苦手な猛暑

トラ歳の我は暑さを好まざりされど木陰で眠りてはおれぬ

猛暑猛暑つづけば米は豊作とか一日茶碗一パイでよい

長梅雨の終れば待つは庭仕事暑さに馴れる身体を作らむ

電話にて催促たびたびとりあへず半日仕事の庭から始めむ

一日<sup>ひとひ</sup>出て二日を休む庭師なり天気予報を頼りにしつつ

梯子の上に吹きくる風うれししばし鋏の手をば休めて

闇をサク閃光のあり時をおかず背戸の桧原に落雷とどろく

雷神の暴れあばれ静もれる闇に深しんと沈みゆくなり

ナスキウリオクラなどの到来物早目の昼は汁なしソウメン

年金の助けとなりぬ到来物ただ有難し生かされてきぬ

助けられ生かされてこし八十余年手助け出来る日月のばせるや

老人の一人暮しの庭仕事燃えるゴミの収集日の前

闇に目覚め明日の仕事の手順など思ひ考えいつしか眠る

働ける元気を保たむ一日を一生としそれのみのこと

『いじよせ』

西浦公民館 いーはとぶ

二回目のワクチン今日は打ちてきぬなぜか心のやすらかにして  
安静を三日過してワクチンの副反応なしありがたきかな

三田美奈子

焦れども心は鈍し身は硬し目の前の些事に夜の更けつつ  
唐突にあたしが死んでも泣かんでねって母の言葉よ何と返さむ

水野絹子

コロナ禍に会へぬ孫等に会ひたくてDVDの映像日課になりつつ  
せつかな娘の電話父の日は一週間後と笑へる幸せ

牧原規恵

麦秋のこんがり黄色き田をゆけば涼しき風のと吹きてくる  
紫陽花はそれぞれ己の色保ち主張もせずひそか咲きをり

稲吉友江

年に一度の食べたき物のひとつなりグリーンピースご飯今年のうちまよ  
堂々と三河湾渉るコンテナ船三階の窓にわれは釘づけ

鈴木美耶子

いつの間にか水無月となりて足ふみす庭の紫陽花色づきにけり  
やうやうに光見えたり今朝の朝淡淡として会合に行かむ

吉見幸子

ひと鍋のチキンカレーの届きたり亡夫の好みを知らぬ嫁から  
鯖寿しにチーズのいろいろ缶ビール父の日の広告われは見てをり

牧原正枝

高齢者コロナワクチン接種する吾ら電車ごっごの如座る  
孫の蒔きし朝顔の種やうやうに五寸ののびて紅き朝顔

森厚子

赤き月欠けるを橋に並び見るそれぞれ二人のスーパームーン  
クリーニング店を閉づると知らせありスーツ着てゐし日々はとほくに

山崎俊子

コロナ禍のプールの授業始まりてただただホイッスルの音のみ高し  
真白きのブラウスを着て初出勤の娘うしろ姿を見送るわたくし

伊藤晴江

現代学生百人一首

東洋大学

黒鳥口ばしつづくいちじくは失恋知った乙女の心臓

東京学館新潟高等学校一年

加茂凛々子

カタコトの「イラッシャイマセ」くりかえすアジアの風吹く朝のコンビニ

東京学館新潟高等学校三年

栗田岳

フキノトウ土雪をよけ顔を出す白になれてた目にあざやかに

新潟県立長岡農業高等学校三年

中西千里

曾祖母の畑のすいか赤く熟れまた来年もなと笑う縁側

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校一年

有吉希生

曾祖母の遺した歌集手に取りて私の名前見つけるよろこび

飯田女子高等学校一年（長野県）

北きた澤ざわ凧な希ぎ

夕暮れのテトラポットと潮風を感じてみたい信州人は

伊那西高等学校三年（長野県）

我が如にく古こウイウイアン

電車まであと三分の待ち時間スマホに映える英単語五個

伊那西高等学校三年（長野県）

桑くわ澤ざわ菜な生お

最後だね楽しもうぜと声かかり涙ぬぐってラストゲームへ

上田西高等学校三年（長野県）

西にし川かわ莉り央お

贈呈誌

森岡陽子

冬雷 2021年 8月号

- 早苗田が映す鯉轍の一匹は拗ねて捻ぢれて畔越え泳ぐ  
田端五百子
- 耳納山地の峯に重なり煙る峯はるか彼方に何あるといふ  
姉川素枝子
- 山法師の梢に白き苞満ちて見上ぐる空の素ひろがりぬ  
古嶋せい子
- 丈低き苗の間をかいぐり餌探している鳩の三、四匹  
飯嶋久子
- 履き慣れる草履の鼻緒親指に力を入れて歩むきざはし  
村上美江
- 波がしら寄せくるさまに連なりて雲脚はやき梅雨の朝空  
野村昭一郎
- 埋めたる百合根の茎の伸びはやし何百合咲くや咲く日のありや  
佐藤靖子
- 悠然と山腹進む尾白鹿阿吽の息か二頭の歩み  
益坂順子
- 白妙の雲を生みゆく飛行機の先に薄墨色の富士山  
齋鹿ミヤコ
- びつしりといふ感じにて咲く花の色まだ淡く桃畑あり  
小林芳枝

秋楡 第一一二号

○ゆうぐれはゆつくり来ながら雨となりむしろ愉しと通りをあるく

三原香代

○人流の増加伝える映像にいまだ自粛の暮らし虚しき

不破明子

○贈られし双眼鏡に透明感伊吹山から琵琶湖を眺む

杉谷良子

○信州の生まれにあれどこのごろは心やわらにすごしておりぬ

市川壬子

○海越しに三千メートルの雪嶺の連なり臨み海岸をゆく

中島宣子

○ブランドーの灰かに匂う紅きジャム白く儂き花の夢のあと

木村郁子

○一勝を挟みて週に六ホームー大谷選手は世界を照らす

坪根恭子

○五月雨の木の下闇にあらわれて老描しばし吾と目あわす

杉山千里

○自己流で枝を切り過ぎ寂しけりオールドローズやさしく香る

高木啓子

○日の本を覆い尽くしてコロナ風そんな中にも産声あがる

中村カズエ

## 青春の詩 その2

高橋育郎

### ○君の現代絵画「人」

腰を宙に浮かして

二つの人影が傾いていた

たちこめる埃に その影は黄色く変色した

埃は一抹の光を被り いっそう不気味になって

眩しく眼を覆った二人は 見どころを失って

時計の針を動かした

### 音

研ぎ澄まされた耳には

都会の音は強烈

ジューと肉を焼く音

食欲を無くした刺激

はらわたはみじめな虐待を続け

居所を失った

都会の音は果てしなく続いて

五臓六腑はたぎり

防ぎを知らない耳は 落丁をとげる

S 3 1

『俳句』

青岬晴れても暗き日本海

山元正規

かたつむり明るき雨に首伸ばす

歳月や特攻の地の夏岬

山鳩の何処で鳴くや夏木立

田中清秀

大空にうさぎやかめの雲の峰

涼風や木陰の一睡天下人

行き過ぎて挨拶かはす日傘越し

森岡陽子

板塀に浴衣すがたの神楽坂

緑陰の褪せし長椅子独り占め

鎌倉の五山にわたる蟬時雨

浜田紀政

洗濯機フル回転の梅雨晴間

職人の一息つくや片かげり

鉄削る音に耳寄せ汗しとど

松本周二

山清水掬ふ両手の皺騒ぐ

大西日大仏殿を仰ぎ見て

梅雨明やラジオ体操寺の庭

重野善恵

友来る昼寝ばれたる畳跡

草いきれバス停そばの空地かな

暮れなずむベンチに一人蟬しぐれ

木村歩歩

雨上りかわせみの青一直線

教室に響くドラムや夏の雲

農作業終えて夕日に百日紅

梅雨の星ライン句会の果てにけり

植村公女

断捨離の中途半端よ夜のメロン

朝顔や不用不急の続きをり

彰義隊敗れし日とや梅雨の月

今泉如雲

菅原道真みちざねと西郷隆盛たかもりならび幽霊画

還暦で六十キロで半ズボン

白南風や街にハラハラ鳥の声

矢崎直人

背伸びの子大きくなあれ夏の雲

片蔭を迷わずゆけり黒い猫

天に地に淡き紫花棟はなあふち

今泉由利

いつまでも生きゆくつもり四万六千日

とき色の貧乏蔓の花が好き

均等に植えられてゐる稲の花

窓の秋大きくなりし火星あり

釣舟草まるはなばちと相互あり

# かさね吟行会

## 「明治神宮」 7月

田中清秀

大正時代に造られたJR原宿駅の旧駅舎は昨年三月に新しく改装された。大きな硝子窓から自然光が直接差し込む明るく洗練された都会的な建物となった。また、駅構内にあるコンビニやカフェも、お洒落でモダンな表参道の入口として相応しい。今回のかさね吟行会は、この新原宿駅に集合し隣接する明治神宮の森を散策した。梅雨の晴れ間となった令和三年七月九日、菊のご紋の輝く日本一の大鳥居を抜け、本殿へと続く南参道の砂利道を歩き始める。加藤清正が掘ったと伝えられる清正井（きよまさのいど）や大名の下屋敷だった神宮御苑を林の奥に見ながらゆつくりと本殿に向かって進む。

待ち合はせは新駅舎にて梅雨の晴

さち子

新駅舎宮の森から若葉風

素山

明治神宮の御祭神は第一二二代天皇である明治天皇と

昭憲皇太后が祀られている、初詣には毎年多くの参拝者で賑わう祈りの社である。また、結婚式から初宮詣、七五三など人生儀礼のお参りや家内安全、厄払いなどのご祈祷にも人気がある。南参道には奉納された日本酒の樽酒に加えて、反対側にはワイン樽の酒樽も置かれている。これはワイン好きで知られた明治天皇にフランスのシャトーから献上されたことに由来している。この和洋折衷は明治神宮ならではの光景である。

参道に弧樽並ぶ宮祭

紀政

ひと雨に色洗はれて若楓

清秀

神宮の森はおよそ七〇万平方メートルの広大な鎮守の森、創建にあたっては全国から献木された約十万本を十一万人に上る青年団によって植栽された。通常、神社の森はスギやヒノキなどの針葉樹林が多いが、代々木の立地条件から広葉樹、特にカシやシイ、クスの木を中心に植えられている。しかも、当初は成長の早い針葉樹林を、遅れて広葉樹を中心に植樹して、およそ百年後の姿を科学的に想定しながら計画されたと言う。そして、参道を掃き清めた落葉を森に戻す以外は、人為的な手を加

えず、森の変化を自然淘汰に任せている。そして今、都会のオアシスとして、歴史を感じながら生い茂る美しい木々の緑を楽しむことができる。

### 万緑や一人歩きの砂利の音

抱かれゆく百年の森夏深し

陽子

正規

近年では、太平洋戦争末期に境内一帯は本殿を含めて灰燼に帰したが、神職達の働きよって祭神は遷座され宝物殿に収められ守れた。戦後は占領政策により参拝者は激減した、その後全国からの募金が幅広く行われ、昭和三十一年本殿の地鎮祭が行われ、そして翌年上棟祭を迎えた。以降、何度か改修が行われて現在の拝殿、中門、本殿の立ち並ぶ社殿が立派に出来上がっている。

明治神宮が授与する神札には宮の字の呂の中間にノを入れない「宮」と言う変わった文字を用いている。創建当時に書かれた書体を守っている為であるが、大正十一年の明治神宮明細帳で「ノ」の入った宮を正式神社名に使用することになったと言う。

さらに観光案内風に付け加えると、まず本殿前の参道は、升形と呼ばれ一見九十度のように見えて実は八十八

度に設計されており、末広りの縁起を担いでいる。また、拝殿前にある夫婦楠は樹齢百年にのぼると言われ、寄り添うような姿は夫婦円満、恋愛成就の御利益がある。宝物殿前の芝生広場に在る亀石は触れると健康と長寿が賜るとのこと、そして、近くのさざれ石はパワーストーンとして知られている。細かい話したが、南神門の扉などのハートマークは猪目と呼ばれるイノシシの目を表し、火除けの意味があるらしい。また、随所に見られる紋章は、天皇家の菊と豊臣秀吉の桐の紋章のどちらも使われている、両方が見うけられる数少ない神社でもある。

永遠の森でたっぷりマイナスイオンを浴びた後は、澁谷に足を伸ばし、素山さんの紹介の中華料理店でお腹を満たした。いつものように囁目三句出し四句選で行い、伝統ある明治神宮への楽しい吟行会は無事にお開きとなった。

## 『酔いの徒然』(一一三) 丸山 酔宵子

### 『オリーブに思うこと』

我家の小さな庭に、青々とした葉をいっぱい抱えた堂々たるオリーブの木が逞しく威容を誇っている。

25年程前に目黒八雲に購入したマンシヨンはメゾネットタイプで一階には小さな庭がある。勿論芝生をベースにして、紫陽花、ミモザなどを植えたのだが、どうしても主役が決まらず、何年かが過ぎていた。

その当時、デジタル技術で世界の先端に行くイスラエルによく出張していた。初めてイスラエルに行ったのはドイツで仕事があり、ミュンヘン経由でテル・アビブに向かったのである。一九七二年ミュンヘン・オリンピックでのパレスチナ・テロの首謀組織「黒の九月」の影響か、ミュンヘン空港でのイスラエル行きゲートは一般ゲートとかけ離れた場所にあり、出国審査、身体検査や荷物検査が尋常ではない厳しさであった。それ以来、10数回ほど北のゴラン高原から南の砂漠地帯までイスラエルほぼ全土を訪れている。

イスラエルの建国は1948年であるが、世界に散っ

たユダヤ民族が続々と旧約聖書の「カナン之地」を目指したのである。その辺のドラマは、感動的名画ポール・ニューマン主演「EXODUS 栄光への脱出」に詳しく描かれている。建国時のイスラエルは、将に「土漠之地」であったが、ユダヤ人の英知と努力で全土に水を通し、世界でも屈指の「灌漑システム(イリゲーシヨン)」を築き上げ、現在では農作物や畜産品の輸出国でもある。

1997年ダイアナ妃の不慮の死の際には、イスラエルからの薔薇が世界の需要を支えたと話題にもなった。ナツメヤシ(デーツ)、グレープフルーツジュースやフォアグラまで生産し世界に輸出している。また、建国時にロスチャイルド家が援助したワイン生産も盛んで、「ヤルデン」「カーメル」など世界でも高く評価されている。

2003年、何回目かのイスラエルで、国際ビジネスコンサルタントのハレル・ヘルツ氏からオリーブの権威であるシャウル・イーガー氏(通称:ドクター・イーガー)を紹介された。彼は、オリーブの研究の第一人者でオリーブをもっと世界に広めたいと啓蒙活動をしていた。特に、「マーガリン」に代表されるトランス脂肪酸の恐怖をマスコミを通じて訴え、それに代わる自然の方法での固形化「オリーブ・スプレッド」の開発で世界特許を取得していたのである。ドクター・イーガーとは同じ年代ということもあり、意気投合し日本での発売を目指し、より

良いオリーブを求めて、ギリシャ・テサロニキなどへも何度も一緒に足を運んだ。現在、この「オリーブ・スプレッド」は株式会社ボレイ（横浜）が発売し、有名食品店や通販で好評発売中である。

オリーブは決して肥沃な大地に育つものではなく、荒地でも地中にしっかりと根を生やし、地中のミネラルを吸収し、ギリギリとした太陽を直接目いっぱい浴び、葉の銀白色の裏側を太陽に向けてその熱さを凌いで逞しく育っていく。将に、「シード（種）」と水と太陽」の産物なのである。その油脂組成は母乳に近く理想的な油なのである。

そんな経緯で、我が家の庭の正面にオリーブの木を植えようと決断し、行きつけの花屋に1メートル程もない、葉も少なく弱弱しいオリーブの木を植えたのである。特別な肥料は全く施さず、夏の炎天下でも特別な水は一切与えず、只管、ほったらかしで20年。

今では4メートルほどに育ち、青々とした豊かに茂った葉が夏の陽ざしを受け風に揺れている。夜ともなると月の光が銀白色の葉をキラキラと輝かせてくれる。

## オリーブの葉を輝かす梅雨の月

### 酔宵子

## 楽しい時間 106 山本紀久雄

2021年7月31日

### 九代目市川團十郎・・・其の十二

明治20年（1887）4月、井上馨外務大臣邸での天覧芝居以後、九代目團十郎は英米の新聞、雑誌、書籍に頻繁に登場するようになっていくことを前号でお伝えしたが、明治25年（1892）頃からは、団十郎に関する記載のほとんどに、「ヴィクトリア王朝時代を代表する俳優であるヘンリー・アーヴィング（Sir Henry Irving）」と比する役者と評価、「日本のアーヴィング」という形容が用いられ、知名度は爆発的に上がった。（『佛教大学院院紀要』第46号2018年3月宮智麻里氏論文『英文資料から読む西洋人の見た九代目市川團十郎』）

また、九代目團十郎の死後、明治36年（1903）12月19日付の米紙『プレストン・ Herald』（Preston Herald）に掲載された訃報は西洋人の見た「団十郎像」を端的に著わしている。ここでは団十郎は俳優というより、もはや社会改革の指導者である。

《66歳だった団十郎は高い評価を受けた俳優として優れていただけでなく、個人としての高潔さと彼が立派に代表した職業の模範だと見られていた。昔、日本の俳優は階級として非常に貶められ、士気をくじかれていた。団十郎は同業者の地位を高めるといふ困難な仕事に着手し、その誠実で高潔な行動により彼

らの信頼を得ることに成功したのである》

江戸時代から続く強い差別観念を九代目が突破させたのであるが、それを受けた現在の歌舞伎界は世界的にみてどのような位置づけがなされているのか。それを見てみたい。

最初に評価しなければならぬのは、歌舞伎がユネスコ世界無形文化遺産に認定されていることである。

ユネスコ「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されている日本の無形文化遺産は、平成30年（2018）11月現在22件ある。（文化庁資料）

平成20年（2008）に、歌舞伎（伝統的な演技演出様式によって上演される歌舞伎）は、能楽、人形浄瑠璃文楽とともに上記「一覧表」に記載されることが決定し、平成22年（2010）6月に文化庁で認定書の伝達式が執り行われた。

無形文化遺産条約は、2003年にできたもので、正式には「無形文化遺産の保護に関する条約」（Convention for the Safeguarding of the Intangible Cultural Heritage）と称している。この条約は、無形文化遺産条約で保護するものであり、その文化を担う人たちが、自分たちにとっての遺産だと認めるものであり、その人々のアイデンティティの拠り所となっているもの。

つまり、ある文化を受け継ぐことが、その人びとの自己認識や誇りの拠り所となっている。

言い換えれば、誰かに決められるのではなく、自分たちが先祖から受け継いだ大切なものと認識しており、それを担う特定の人々「コミュニティ」と非常に強く結びついているものなので

ある。(参照「無形文化遺産つてなに?」俵木悟成城大学文芸学部准教授講演記録2017年11月4日)

話が難しくなったが、要するにユネスコが「歌舞伎は世界的に社会的価値がある」と認定したわけで、これは重要である。

江戸時代の日本で差別されていた存在が、今日では世界の文化遺産だと認められ、社会的地位が確立した。そのことをユネスコが証明したのだと言える。

次に評価すべきは、歌舞伎の本拠地である歌舞伎座が立て直されたことであろう。

歌舞伎座は今までに4度建て直されている。第四期は、前大戦の空襲により大部分が焼失した第三期の姿を踏襲しながら昭和26年(1951)に再建を果たし、以来、約60年にわたり続けてきたが、老朽化などを理由に、このたびのリニューアルとなった。

現在は第5期目、2013年に完成。地下4階地上29階建て・高さ143mのオフィスビル「歌舞伎座タワー」との複合施設「GINZA KABUKIZA」として建設された。

歌舞伎座の背後にそびえる現代的なガラス張りのオフィスタワーとの調和を測るため、劇場正面の晴海通り側のタワー壁面は、劇場部分から大きく後退させたいえ、大部分を白い仕上



歌舞伎座とタワー外観

げとし、歌舞伎座と重ならない部分だけガラス張りにし、昭和通り側はオフィスタワーとしての顔をもたせている。地下には「木挽町広場」が併設されている。劇場の所有は「株式会社歌舞伎座」。

第5期の設計は、建築家の隈研吾氏と三菱地所設計の協働によるもの。低層で和風桃山様式を採用。4階建て全1,964席で、通常の1等席と3等席以外に棧敷席と二幕見席を配置している。タワー5階には歌舞伎に使用する衣装や小道具等が展示されている歌舞伎座ギャラリーや、屋上庭園には第4期歌舞伎座の瓦や河竹黙阿弥の石燈籠等が展示されている。屋上庭園等がある。

新しい歌舞伎座について、三菱地所で設計に関わった大澤秀雄氏は「今回の歌舞伎座建て替えは、人々や街の記憶を継承しながら、機能や性能は現代にフィットしたものに造り替えていった。この保存、復元とは異なる「記憶の継承」という手法」であると述べている。(連載「ものづくりの視点」)

この設計者の見解、その通りだと思うが、ひとつ大きな潮流に触れていないと感じる。それは海外からのインバウンド客への対応であるが、これは次号にした。



屋上庭園

# 絹の話 (130)

「アトリエテレビ」今 泉 雅 勝

## 七夕まつりは絹祭り その一

### 棚機祭り

5千年位以前の古代中国で蚕の繭から紬ではない生糸を作る事が発見され、艶やかで薄くしなやかな絹織物ができる様になりました。それは天子や家臣が使うばかりでなく、貴重な交易品として莫大な富をもたらす一方、残糸でフェルトや紙も作られ、象形文字から漢字が形成され、王命の伝達、学問の発達に大いに寄与しました。当時養蚕や機織りは王妃、姫など高貴な身分の人も携わっていました。

古来より中国では奇数(陽)の重なる日は縁起の良い日とされ(偶数は陰)、天の川が美しく見える7月7日には秋の豊作と無病息災を祈り、神に供え物をする習慣が有りました。その後初夏に収穫された繭から棚機(水辺に特設された小屋で女子が織る横板の付いた織機)で織った織物を機織りや手芸の上達を願って神に供える「乞巧奠」という行事が加わり、さらに牽牛織姫の話と結びつき(秦の時代の「詩経」に記されている)、願い

事が叶えられるように五色(青、黄、赤、白、黒(紫))の絹紐や織物を供えるようになりました。

この祭りは支配者にとつては国を富ます絹の増産と文字の普及(習字等)などが込められた祭りでもありました。

### 七夕と五節供

節供とは古代中国から日本に伝えられたと言われる行事で、日本の宮中でも季節の変わり目の奇数の重なる日に、節供として神に季節の供え物をし、神と共に供物を食し無病息災を願うものでした。

奈良時代に遣唐使によって棚機祭りが伝わり、平安時代には五節供の一つに組みこまれて行きました。

#### 五節供とは

1月7日 人日…人を大切にする日。

供物…七草粥

3月3日

上巳…3月初の巳の日…平安時代の雛遊、流し雛で自分の汚れを流す。女子の祭り。

供物…

桃の花、菱餅、白酒

5月5日

端午…5月初の午の日…菖蒲を軒に吊るし邪気を払う、武士の時代に男の祭りに。

供物…菖蒲、蓬 柏餅

7月7日

七夕…汚れを払う日本の風習に中国の牽

牛織女の棚機祭が合流。

供物：梶、桑の葉、そうめん、素餅、  
重用…奇数（陽）最大の9が重なる日、  
9月9日

菊は中国では不老長寿の葉草…菊まつり。  
供物：菊の花 菊酒 栗ご飯 茄子料理  
節供が節句に変化、七夕を「たなばた」というわけ

五節供は平安時代の宮中の行事から江戸時代には幕府の休日と定められ（明治6年廃止）。次第に大衆の生活行事に組み込まれ季節を表す言葉に変化し、節供が節句と書き表される様になりました。

同じ様に七夕の棚機祭りがいつしか「七夕祭り」と読み替えられるようになりました。

こうして江戸時代には大衆祭りに発展してきました。

### 鵲の渡す橋

牽牛と織姫（天帝の娘）は年に一度天の川を渡って逢瀬を天帝から許されました。

7月7日の夜になると何処からともなく何羽とも知れない鵲がやって来て、天の川に羽を広げて橋をかけ、そこを織姫は牽牛のところへ渡って行くのです。

鵲は胸と羽の先端が白で胴が黒いカラス科の鳥で、中国では「喜鵲」と書き、福をもたらす鳥とされています。日本には古代中国から移入され、奈良時代には宮中の階

段を「鵲橋」と言っていたようです。

### 梶、桑の葉に願いを書いて供える

絹生産が盛んになってきた古代中国では7月7日節供に神木である梶の葉または桑の葉に願い事を書いて神に供えていました。

桑の葉は莫大な利益をもたらす絹生産の元であり、不老長寿（高血圧予防）の木とも言われていました。

梶の木は桑に似た桑科の植物でその樹皮は紙の原料になり、絹紙から植物紙への革命的大発見への感謝と祈りが込められています。願い事を書く物は梶や桑の葉から絹紙、植物紙へと発展して来たのです。

### 竹の葉さらさら

竹の葉に五色の短冊など吊るすのは江戸時代中期になつてからです。一つの行事も千年以上も受け継がれて来ると色々に変化してその歴史を思索してみるのも楽しいものです。

\*絹の話128の修正

128の文中で「マナシカタマ小舟（丸木の双胴船？アウトリガー船？）は古事記に「無目堅間小舟」と書かれている事から漆で塗り固めた大きな竹編籠船と修正します。

## 本田カイロプラクティック先生の春夏秋冬

本田 勇氣

<https://hondachiro.exblog.jp/>

2021年8月4日

### 胃腸の不調から大きな症状へ

蚊取り線香の匂いはどこか懐かしくてほっとします

まさに夏の風物詩ですよ

最近

腹痛

便の不調

吐き気

胃液が逆流する

食欲不振 過多

などの症状が増えています

そうしますと

首の痛み

肩の痛み

背中のはり

起床時の腰の痛み

足のはり

などから

ギックリ系

などの大きな問題を引き起こすきっかけになります  
ですので

SSはもちろん

冷たい飲食物はほどほどに

腹八分

良く噛んで食べる

ということに気をつけてみて下さい

今日も笑いながら行きましょー

2021年8月9日

## 快適に

今日は祝日です

ですが本田カイロプロラクティクスはやっております

例の祝日変更に関にあわなへ・・・  
ですので

水曜日が休日となります

10月の祝日も変更となったことをつい最近知りました

私自身テレビを観ながらこのつのも

やや問題ありですね

最近

小便の回数減っていませんか？

尿が濃くなっていますか？

便が固くなっていますか？

これらは

内臓の不調はもちろんです

汗で水分が出てしまい腎臓まで水分が届いてないから  
なんです

水分の種類については何回も書かせていただいています  
すが

もう一度

汗のかく環境では 水 ではなへ

ミネラル分を多く含む水分を摂取しましょう

(麦茶などの茶色系の飲料やイオンウォーター)

水は涼しく汗のかかない環境で摂取するようになしま  
しょう

暑さに耐えるのではなく快適にすす

というのを心がけましょう

今日も笑いながら行きましょう

## 「江上浩二の独り言」45 江上浩二

## 遠隔教育なんて昔からあったが

コロナ禍で世界中で遠隔（リモート）、オンライン教育（OL）、e-learning（以降EL）が導入されてきて、中等教育から大学を含む高等教育まで対象となり、大学生などは1年遅れで入学式に出て、初めて同級生と会った事が話題になるくらいである。しかし、わが身を振り返っても（50年前）ラジオ講座で第3外国語のフランス語を勉強したこと、受験勉強でアルファベットの最後の文字を使った〇会の郵便・紙ベースの教材・特に数学などの添削も立派な遠隔教育であった。インターネットの恩恵を受け、2013-2014年頃に今考えると初期の「E」のプラットフォーム導入を知り合いと検討していた時期にアップしたマイブログ記事を読み直す機会があった。

## 題 成人教育向けELの鍵 2013/12/29:

これまで、K-12の義務教育やedXの様な大学高等教育に「E」を上手く活用し、教育機会を提供したり、高額な大学の月謝などの費用を軽減できる一つとして、議論されてきた。今回、Kirsty Chadwickさんは生涯教育というより、企業社員教育としてのELの役割について幾つか言及している。プログラムやツール・プラットフォーム

フォームの出来やデザインではなく、教育を受ける大人の気構え、意識と言ったところでしようか。モチベーションを第1番に指摘し、スキルを身に付けさせるというのではなく、会社は君、社員を必要としている、会社は社員に係っているのだという事を如何に説明するかだという。第2番には、研修を受けなさいという指示ではなく、知識や経験に優れた大人は、ある分野での知識や専門性を前もって評価して、もしギャップがあるならば、それを埋めようという経験を尊重することだという。第3には自分で方向性を見出させる事、第4には受け身的に講義を受けるのではなく、相互的に（Interactive）教育プロセスに参加しているのだという十分な満足感を得る雰囲気作りがポイントだという。

## 題 ハーバードが同窓生、卒業生向けEL 2014/02/15:

ハーバード大が現役の学生でなく、卒業生・同窓生向けに「E」のコースを3月から提供するという。

名称はHarvardX for Alumni. だそうだ。ハーバードを卒業した立派な大人に、何が不足でどんなELのコースを提供するのだろうかと少し案じたが、このコースは卒業生専用でフルコースではないようで、教授と再交流出来る意味合いが強く、それ以上に同窓生の絆を強め、卒業生の資産を高める所にこの新しい取り組みの価値を見出したい意図があるそうだ。

## 題 意外なオンラインEL受講者像 2014/02/23:

知っておいたら今年2014年はワクワクするかも。

①平均年齢が34歳、②82%が大卒以下の学歴、③81%が社会人として仕事についている、④世界のFortune 500社に入る企業の40%以上が研修ツールとして採用している、⑤オンライン教育を採用している企業は50%以上の生産性を向上させる可能性を秘めている、⑥その様な企業が研修に費やしている経費1ドル毎に30ドルに値する生産性を生みだしている、⑦人事管理者への調査では離職者の最大の理由として研修が不十分であるとしているのは12%、⑧社員へ最良のEJLとOJLを提供している企業は社員1人当り26%以上の売上増を生みだしている、⑨2011年には世界でEJLの自主学习に3兆5000億円が投入されたが、現在では5兆5000億円、さらに2015年には2倍になる、⑩企業の72%がEJLは業界での変革に対応出来るように最新な状態に居られるように助かっているし、ニッチな市場で優位性を維持できると述べている、⑪教育・研修志向文化を持つ企業はそうでない企業よりも市場で優れている、⑫内訳として34%以上の企業で顧客のニーズにもっと対応したい、⑬46%以上は業界でリーダー役を果したい、⑭17%以上が市場のトップシェアを獲得したいと考えている。

## 題 卒業生向け HarvardX 続報 2014/02/26 :

2014年3月22日から、ハーバード大の卒業生向けEJLコースで7つの講座が準備されスタートするぞうだ。

それら7つの講座はどのような過程で選抜されたのか分らないが、米国人としての関心の高まりなのか、どの国、文化圏に居住している人達にも興味ありそうな内容である。

アメリカの詩歌

古代ギリシャの英雄

コンピュータサイエンス

中国の歴史

神経科学

アイシユタインによる革命

有形資産（これは直訳、歴史的遺物・貴重品）など2週間毎のコース、又はハーバードクラブか別の場所に集合して行う。サンプル講座はEJLプラットフォームに出ているという。

以上は7年位前の古き時代の話ではなく、今でも初期のわくわく感が満ちている。手法的には教師なし反転教育の追及、単に大教室での教授の講義をビデオにしたままのものは効果的でなく、私の企業教育での実体験ではロールプレー方式で自らが相手に分かってもらおうとするプレゼンテーションを行う事や、結論結果を先に示し補足と説明を加える簡単なやり方、文字は少なく画像、映像をうまく利用すると非常に効果的で90%の有効性があり、単に資料を読んだり見たりしただけでは10%しか理解されないぞうだ。その差は歴然としている。

漢詩研修 (五十九)

千代田岳精会 平井茂行

時 <small>とき</small>	盛 <small>せい</small>	勸 <small>かん</small>
に	年 <small>ねん</small>	
及 <small>およ</small>	重 <small>かさ</small>	学 <small>がく</small>
んで	ねて	
当 <small>まさ</small>	来 <small>きた</small>	
に	ら	
勉 <small>べん</small>	ら	
励 <small>れい</small>	ず	
すべし		
歳 <small>さい</small>	一 <small>いち</small>	陶 <small>とう</small>
月 <small>げつ</small>	日 <small>じつ</small>	
は	再 <small>ふたたび</small>	潜 <small>せん</small>
人 <small>ひと</small>	農 <small>あした</small>	
を	な	
待 <small>まち</small>	難 <small>がた</small>	
た	し	
ず		

【この詩を選んだ理由】 日頃、漢詩・詩吟にあまり関心の無い人でも「少年老い易く学成り難し」の句は漢詩からきている教訓ことわざとして多くの方がご存じだと思います。私も、格言として、詩吟の世界に入る前からそれくらいは知っておりました。そして詩吟の世界に入ると「偶成（朱熹）」は本当に有名な漢詩・詩吟であり、いつも登場して来る感じでした。詩の内容の良さも勿論ですが、作者が儒学を中心であり、江戸時代の官学となった朱子学の創立者・朱熹（朱子）であることも大きく影響してなのでしょう。

【作者】 陶潜（365年～427年） 中国の魏晋南北朝時代（六朝期）

東晋末から南朝宋の詩人。潯陽柴桑（現在の江西省九江市柴桑区）の人。名は潜。字は淵明、元亮。曾祖父は晋の名将・陶侃であり、母方の祖父は孟嘉である。当時の貴族社会では、北から来た門閥貴族が幅をきかせ陶氏のような土着の家柄は「寒門（単門）」と呼ばれ、あまり尊敬されず世に出るのに大きな制約を背負っていた。しかも若くして父を失い、貧困の中で成長した。そのため二十九歳の時、ようやく江州の祭酒（教育をつかさどる職）になる。以後、十三年間、断続的に官吏生活を転々として続ける。

《語釈》 ※盛年…：血気さかんな年頃。 壮年。 ※不重来…：二度とは来ない。 強い否定。 ※晨…：早朝。 ※及朝…：よい機会をのがさず。 ※勉励…：充実した時を過ごすように勉め励む。

《通釈》 若い元気な年頃は、再び来ないし、一日のうちの朝は、二度と来ない。それ故、学ぶべき時によく勉め励んで、充分勉強しておかなければならない。歲月は人を待つものではないから、いつの間にか、すぎ去ってしまうのである。

## 『初めてのホームシック』

中屋保之

毎年この季節がやってくると思い出す。一九五八（昭和三十三年）の夏、小学校四年生の私は、富山県魚津市の国鉄魚津駅前で阪神甲子園球場から戻ってくる「富山県立魚津高校野球部」を迎える市民の熱狂の中にいた。いまだに語り継がれている、坂東・村椿の投げ合い、延長十八回引き分け再試合で、徳島県立徳島商業に敗れはしたものの、唇気楼旋風を巻き起こした「魚津高校野球部」は、幼い私の心を熱くしてくれた。

私の両親は、富山県出身である。私が生まれて数か月で東京暮らしとなった経緯は良く分からないが、私にとって幸いだったのは、四人の祖父母ともに健在でいてくれたことであろう。《可愛い子には旅をさせよ》の例え通り、一人っ子である私を幼稚園に入る前から、ひと夏を富山で過ごさせるのを通例としていた。そして、父の実家が魚津にあったことがこの熱狂に遭遇した由縁である。

この富山での境遇が、私には実に居心地の良いものであった。父方には「和ちゃん」と「悦っちゃん」という三歳年上の従姉がいて、まさに姉代わりに甘え放題で遊んでもらった。和ちゃんには勉強を、悦っちゃんには音楽や海水浴にと、誠に都合の良い組み合わせと言えた。末っ子の「弟」役に飽きてくると母方の祖父母のところへ拠点を移すのである。和ちゃんと悦っちゃん以外に同年代の遊び相手のいない魚津と打って変わって、孫第一号の私は、兄貴分となれたのである。しかも、富山市街からは離れた祖父母の家には、いつも誰かが集ってきていた。従妹の容子ちゃんや同じく従兄妹の雅人くん、明子ちゃんはじめ、薬局のキヨシくん、呉服屋のたいこちゃん、隣の酒屋のみつちゃんなど、多種多様な遊び相手に恵まれた。東京から来た坊やという物珍しさもあったにせよ、どここの親御さんも我が子同様に可愛がってくれた。

私が小学校に入る頃まではまだ独身だった叔父が、勤めを終えて帰宅するのを迎えに出た私を我が子のように慈しんでくれていた話は、私が成長してからもよく聞かされた。その叔父と結婚することになる叔母にも確か、宇奈月からトロッコ列車に乗せてもらった記憶がある。当時の列車は今のような立派な観光列車ではなく、その名の通りのトロッコで、座席も横向きで天蓋もないような代物であったのも楽しい思い出となっている。

そんな叔父と叔母に連れられて、能登半島の付け根の和倉温泉に泊まった日に「魚津高校」対「東京代表・明治高校」のラジオ放送があった。魚津生まれの東京育ちが、どちらを応援したものかと迷っていたと、叔母は可笑しそうに今でも話してくれる。いつも優しい叔父と叔母が、遠い存在となったような気がしたのがこの日の夜のことであった。両親に甘える雅人くんとそれを優しく包み込む声を聴いてしまった私は、初めて『ホームシック』というものにかかってしまったのである。勿論、その後もこの叔父と叔母は私にとっても優しく接していてくれる。何故、この季節になるとこの事を思い出すのか、私にも解らない。が、自分が勝手に思い込んだことが期待に反しても、それは、相手のせいではないという戒めにはなっている。

残念なことに、朋美叔父は十分な恩返しもせぬうちに亡くなってしまった。見舞いに行った折に、家族以外は面会ができないという病院に、「やっちゃんは家族なんだ」と訴えてくれたと聞いた時、改めて朋美おじちゃんの優しさに触れた気がしたのを思い出す。保之の名を「やっちゃん」と呼んでくれる紀子おばちゃんは電話口で、私がおさないころのままの優しい声で励ましてくれる。

因みに、「雅人くん」は、写真家として世界で活躍している「テラウチマサト」氏である。

桜台楼観月  
おうだいろうかんげつ

桜台楼主人・精真

三五さんごの夜深よふこうして 懐正おもいまさに遐はるかなり

小斎しょうさいに黙坐もくざして 年華ねんかを惜おしむ

雲くもより来きたり出いず 今宵こんしやうの月つき

渐渐ぜんぜん光ひかりを移うつして 台上だいじやうに斜ななめなり

櫻臺楼観月

平成二十六年

三五夜深さんごよふこ懐正おもいまさ遐はるか 小斎しょうさい黙坐もくざ惜年華ねんか  
自雲みづから来き出い今宵こんしやう月つき 渐渐ぜんぜん移光うつひかり台上だいじやう斜なな

(語釈) ○桜台楼…テラスの前にある吾が書斎。 ○三五…十五。 ○年華…年月。 ○漸漸…さひだいに。 ○台…テラス。  
(通釈) 十五夜の夜も深くなって、遙かな思いに耽る。書斎に一人坐していると、移り行く年月が惜しまれてくる。  
先程、雲から離れ出た満月は動き続け、テラスの上に斜めにかかった。

※四十歳で横浜に住んだ、恩師と義父は同じ歳で私とは丁度三十歳違う。何かと勘定しやすい。自分の歳に三十を足して、先ず義父のその頃の元気さや様子を常に思う。そして義父とは思ひ方は異なって、遠くに離れた恩師のことを思わない日はない。

そもそも今の自分は恩師との出会いがあつてこそその始まりだ。恩師との出会いがなかったら今日はなく、吟の出会いが恩師でなかったら今まで続いていないだろうと確信している。

ご縁の有り難さ、人生とご縁の妙を思わざるを得ない。この時恩師九十七歳。

権現山境

今泉由利

媛廻るたにめぐ 村巷そんこう 小齋の中しょうさいうち

一川の溶溶としていっせん 秋水通づしゅうすい

那边なべ 尽处つくるところ 塵外の境じんがいけい

吾屋あがや 心头しんとう 赏心同しょうしんおなじ

媛廻村巷小齋中

溶溶一川春水通

尽处那边塵外境

心头吾屋赏心同

○村巷 〓 村に通じる道

○溶溶 〓 ゆるく流れる

○那辺 〓 いづれか

○塵外境 〓 俗世間をはなれた所

○賞心同 〓 広く物を賞美する心

○王子神社と王子稻荷神社の権現山の頂上？に縁あって住んでいる情景。

## 旅人芭蕉 (5) 夏 目 勝 弘

杜国と約束した、吉野山への花見までにはまだ先のこと。

伊賀のあちこちを巡ぐり、昔の思いに浸り三月十一日には、貞享二年の春、水口で再会した土芳が隠住する此中庵を訪れ、かつて江戸で詠んだ。

○ **糞虫の音を聞きに来よ草の庵** 芭蕉  
 の句をしたためた面壁の画賛を贈り、庵開きの祝いとした。(達磨図に賛したもの)

三月下旬には上野町の豪商で旧友の窪田宗七(宗好)菅野宗無を誘い阿汲庄(現阿山郡大山田村富永)にある新大佛寺に。そして「新大仏寺記」を書いた。

○ **丈六の陽炎高し石の上** 芭蕉  
 紀行本文にすっかり荒廃したさまが描写され、壊れた尊像の首だけを拝したとある。

旧主藤堂新七郎家では、良忠(蟬吟)の遺児良長が家督を継ぎ、探丸・と号して俳諧をたしなんでいた。

探丸は芭蕉を下屋敷(別邸)八景亭に招き、花見の宴を開く。「探丸子のきみ別墅の花見もよほさせ給ひけるにむかしおあともさながら」

○ **さまざまの事おもひ出す桜哉**(桃青、芭蕉の別名)  
 ○ **春の早日くふでに暮行** 探丸子

(貞享五年春)その後、この亭をさまざま園と呼ぶようになった。芭蕉は、門人岡本苔蘇の瓢竹庵に数十日滞在して、伊賀より少しは開花の遅い吉野の花見に出かけるため、伊良湖畔から呼び寄せた杜国をとまない。吉野へ出立(こと)になる。

罪人を伴つての旅となれば、芭蕉も罪に問われかねない。愛す

る弟子の不運を知れば、ただ黙って見過(す)すというわけにはいかない。

吉野山への花見の旅で、元気づけようと危険を承知で、杜国のもう一つの名の万菊丸という名で、歌舞伎役者の若衆のように白小袖のうえ藤色の紫縮緬の小袖を二枚重ね、羽織帯まで同一色、紫帽子をかぶつて吉野への花見の旅であった。(万菊丸の装束は、輪廻の詩人、著書「篠崎絃」より引用)

芭蕉は杜国に「自分は西行の生れ変わりだ」と母にそう言い困惑させたことがある。と打ち明けた。

旅立ちにあたり芭蕉は、苔蘇への感謝をこめて

○ **花を宿にはじめをはりやはつかほど** 芭蕉

○ **此ほどを花に礼いふわかれかな** 芭蕉

貞享五年三月十九日瓢竹庵から吉野に向うときの留別の吟。前の一首と同じく花を表に出しつつ主人への謝意を中に込める。

芭蕉と万菊丸は松木笠の内に(乾坤無住同行二人)巡礼者が笠に書く詞)と落書。

○ **よし野にて桜見せふぞ松木か** 芭蕉

紀行本文には「いら(こ)峠にてちぎり置きし人が我がために童子となりて：自から万菊丸といふ」とあり「門出のたはぶれ事とせんと、笠のうちに落書きす」と。

そして万菊丸は(よし野にて我も見せふぞ松木笠)と書きつけた。

伊賀上野を南下、豊白瀬街道を西へ、琴引峠、長谷寺、多武峰、躰峠、竜門、西河、蜻蛉の滝。

吉野での滝の句二句あり

○ **龍門の花や上戸の土産にせん** 芭蕉

○ **酒のみに語らんかゝる滝の花** 芭蕉

そして大和の平尾村で二宿。

## 「氷魚」のことから (248) 岡本八千代

今や、世界中がコロナウイルス禍の感染拡大のまっただ中。——日本は、気候の変わりめの災難にあつて、その復興しつつある時。

ああ、令和3年・7月23日（金曜日）に、ついにオリンピックは、東京五輪として開幕されたのであつた。開会式は、東京・国立競技場で午後8時から行われた。不思議とその夜の東京は、晴天の美しい夜となつた。私は、始めから終わるまでテレビに釘づけとなつた。

さて、ここからは斎藤茂吉の「実相観入」について書いてみたい。

「実相観入」とは、「心眼を以て対象を正しく把握すること」と広辞苑にある（茂吉の造語とある）。そして観入というのは「茂吉の短歌に於ける写生の説」ともある。これは、長い論考に出てくる言葉であるようだ。これは「彼一流の考証癖、細密主義」が発揮されているとも言われているのである。

では、「写生」という言葉はどこから来るのかという、中国から来ているといわれている。これは、現在における写生ではなくて、過去における写生の意味に視野を広げて縦横に論ずる。その場合、引用した文献は全部一生懸命筆写して、どんな些事であろうと見逃さない眼力でもって、そして自分の作歌の根本的な態度として、「観入」という言葉に到達す

る。（1920年にこれが書かれた）これは、茂吉が、東京から長崎に赴任して「赤光」に続く「あらたま」を編み始めた頃だったのだそうだ。東京に於ける多忙な医師と歌人としての生活から離れて、長崎でゆったりとした気分分、自分自身を見直そうという気持ちだが、充分な時間をかけた論文の成立を可能にしたと思われる。（加賀乙彦氏の文を参考）

○「写生」という言葉の意味は、正岡子規写生論に結びつく。○子規の写生論は、写生を写実と同義に用いていた。作句の基本としては茂吉も賛成しながらも、そのような客観主義では不十分であると批判する。客観のみではなく、主観をそこに入れなければ写生はできないという、考えを夢中になつて考えていた。

○茂吉は、論文で、「実相に観入して自然・自己一元の生を写す。これが短歌上の写生である」という。

○茂吉は、つまり、現実のある状態を実相という。実相に観入というのは、対象をよく見るだけではなくて、そこに想像力を働かせてゆくことが歌の創作でも大切なことである。

医者であつて文学をやつてゆくとすることは非常にむづかしいことらしいけれど茂吉の両方を生かしていったことに頭がさがる。三河アララギの御津磯夫先生もまたその御息子の忠芳先生もその両道をご活躍である。

御津先生から戴いたダチュラの大きな白花が一年中咲いたり散つたりして香りを漂はせてその露玉が光る。―次号へ。

地球なる 2003年1月 今泉由利

スペイン語ポルトガル語に紛るるを異にするなし長き年月

地球なる夜を飛びつづけはるかなる国アルゼンチンへ

日本より一番とほき国にきぬ日本料理の米粒残さず

いま真近イグアスの滝となる川の静かに静かに流るるところ

轟と水のしぶきと水煙とイグアスの滝に私を晒す

滝壺より立つイグアスの水煙に塔の上なる水煙重ぬ

火焰木の梢の花にまず届き紅鮮烈に今日のあけゆく

国境の黄色の線を超ゆるときマルガリータはパラグワイにゐる

悠久のパラナ川に沿へるときカヤツリグサのあまりに細し

意外にもやさしくはゆるアマゾンの木木蔓蔓を掻き分け掻き分く

ジャングルに降る雨降る霧えらばざり濡るるよ濡るる自然に濡るる

嘴の大きさ故に亡びるとトゥカンがいたりトゥカンと鳴けり

## アマゾン 2003年2月

朧なる記憶に焦点合ひはじむコロコバードにキリストの像

悠久の木々草々の蓄積を漉し湧きいずるネグロ大河を

煎じ薬か見紛ふ色のネグロ川旅人としてしばしを浮かぶ

キニーネの樹皮の苦さの残りつつアマゾンジャングルわが足跡を

分け入りしジャングルに音の響きゆく板根樹打つ生ける印しと

太太き幹に花咲幹に実るジャックフルーツに近付くもつと

ピラルクーに餌をやりたりピラルクーをから揚げにして食ひをもしたり

アマゾナスの土の色してアマゾン川の大西洋に至れる途中

幾つ国幾つ空港乗り継がりアマゾン川はカヌーに乗りて

赤色のアマゾン川に同化する赤るピラニア釣りあげしこと

ぬかるみに足をとらるる川岸のここがアマゾンこれがアマゾン

上流よりホテイアオイの流れくる透明度0アマゾン川は

「積尊」の教へ読みつつ読みかけを携へている幾つ国ゆく

目覚むれば樹海アマゾン目覚むればグランドキャニオン飛行機の窓

アマゾンのぬかるみ土のつきしまますニーカーを今日も履きゆく

## 明治神宮秋の大祭奉祝献詠歌募集要項

一、献詠歌 未発表の近詠（一人一首厳守）  
用紙 はがきに限る。

献詠は楷書にて書き歴史の仮名遣を用いる（小・中・高校生は現代仮名遣）郵便番号・住所・氏名・ふりがなを付す・電話番号・年齢を明記（小・中・高校生は、校名・学年も記すこと）  
令和三年九月三日（金）必着

一、締切日 令和三年九月三日（金）必着  
選者 秋山佐和子・沖 ななも・三枝昂之・穂村 弘  
（敬称略五十音順）

一、選歌発表 十月二十四日（日）歌会当日 於明治神宮会館  
賞 一般 特選 一〇名 記念品贈呈  
入選 二〇名 記念品贈呈

佳作 一七〇名 記念品贈呈  
秀逸作 若干名 記念品贈呈  
小・中高生

一、送り先 〇一五―八五七渋谷区代々木神園町一―  
明治記念綜合歌会係 電話〇三―三三七九―五五二―

一、献詠披露式

1日 時 十月二十四日（日）午前十時

2場 所 明治神宮御神前

一、第百四十五回明治神宮献詠短歌大会

1日 時 十月二十四日（日）午後一時

2場 所 明治神宮会館（予定）

3 歌会内容 入賞歌発表・表彰・選評

鎮座百年大祭記念対談

岡野弘彦氏・篠 弘氏 対談ビデオ上映

◎ 会費 不要

☆ 来会者には作品集を贈呈致します。

☆ 作品集郵送ご希望の方は切手三百円分同封の上、お申込み下さい。

※ 特選・入選・佳作・秀逸作に入賞の方には短歌大会前に予めご通知致します

※ 新型コロナウイルス感染状況により、短歌大会を自粛させて頂く場合がございますので予めご了承願います。

主催

明治記念綜合歌会  
電話 〇三―三三七九―五五二―

## 「三河アララギ」について

◇ 三河アララギ発行所 〒一四・〇〇二二  
東京都北区王子本町一・二六・六・A  
TEL 〇三・五九二四・二〇六五  
ケイタイ 〇九〇・八四三四・八六四六

◇ URL <http://inaizuniyuri.jp/>  
E-mail [yuriiinai@jcom.zaq.ne.jp](mailto:yuriiinai@jcom.zaq.ne.jp)

◇ 編集・発行 今泉由利

◇ 三河アララギ誌は毎月発行します。

◇ どなたも参加、投稿いただけます。  
編集室までご相談ください。

◇ 原稿は毎月末日までに、発行所まで郵送、  
メール、お届け下さい。

◇ 会費制は廃止。

◇ 昭和七年、三河地域のアララギ歌人が集い、  
創立歌会が開かれ、御津磯夫主宰「三河アララギ」誕生。

◇ 令和三年現在まで一号の欠刊なく、続いてきました、  
続いてゆきます。